



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年1月30日

上場会社名 株式会社 田中化学研究所
コード番号 4080 URL <https://www.tanaka-chem.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横川 和史
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 山崎 龍太
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0776-85-1801

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	27,048	△24.7	979	△56.5	1,055	△47.5	1,098	△36.5
2024年3月期第3四半期	35,925	△19.5	2,254	△10.0	2,009	△16.1	1,728	△20.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	33.76	—
2024年3月期第3四半期	53.14	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	33,955	18,198	53.6
2024年3月期	38,134	17,234	45.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 18,198百万円 2024年3月期 17,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年 3月期の業績予想(2024年 4月 1日～2025年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	△20.8	900	△67.5	1,000	△64.1	1,100	△57.0	33.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	32,533,000 株	2024年3月期	32,533,000 株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,253 株	2024年3月期	1,253 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	32,531,747 株	2024年3月期3Q	32,531,757 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期貸借対照表に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における二次電池業界は、拡大が続いてきたEV市場において、各国政府の補助金縮小や需要の一巡などを背景に、減速・停滞が顕在化しております。EVシフトは不可逆的に進行するものの、その速度は緩やかになるとみられ、先行して設備投資を進めてきた自動車をはじめ関連メーカーは戦略の見直しを余儀なくされております。

このような市場環境の中、当社の足もとの業績を見ますと、主要顧客からの受注減に加え、物価高や労務費上昇などの影響からコストが増加しており、業績採算面で非常に厳しい状況が続いております。

以上の結果、売上高27,048百万円(前年同四半期比24.7%減)、営業利益979百万円(前年同四半期比56.5%減)、経常利益1,055百万円(前年同四半期比47.5%減)、四半期純利益は1,098百万円(前年同四半期比36.5%減)となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりです。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

「リチウムイオン電池向け製品」

前年同四半期比で17.5%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- ・車載用途(割合97%)は、顧客ごとの販売数量の増減の影響により、前年同四半期比で15.0%の減少となりました。
- ・民生用途(割合3%)は、最終製品の需要減少により前年同四半期比で58.5%の減少となりました。

「ニッケル水素電池向け製品」

前年同四半期比で14.3%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- ・車載用途(割合100%)は、主要顧客からの受注が順調に推移し、前年同四半期比で14.3%の増加となりました。

(ご参考)

(ニッケル国際相場：円換算)

(単位：円／kg)

	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
2025年3月期	2,885	2,446	2,454	—
2024年3月期	3,095	2,961	2,563	2,486

(コバルト国際相場：円換算)

(単位：円／kg)

	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
2025年3月期	5,586	5,039	4,935	—
2024年3月期	4,966	5,717	5,603	5,466

※ ニッケル LME(ロンドン金属取引所)月次平均×TTS月次平均

コバルト LMB(ロンドン発行メタルブリテン誌)月次平均×TTS月次平均

(相場関連損益)

営業利益に含まれている、主原料の購入から製品の払出までの期間の主原料の相場変動等に由来する相場関連利益(損失は△)は、以下の通りです。

(単位：億円)

2024年3月期 第3四半期累計期間	2025年3月期 第3四半期累計期間	2024年3月期
9	1	12

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末比4,178百万円減少し、33,955百万円となりました。

その主な要因は、現金及び預金が2,120百万円、棚卸資産が1,852百万円増加した一方、グループ預け金が6,000百万円、有形固定資産が803百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比5,142百万円減少の15,756百万円となりました。

その主な要因は、仕入債務が3,286百万円、短期借入金が600百万円、長期借入金が1,050百万円減少したことによるものであります。

純資産は、四半期純利益を計上したこと等により前事業年度末比964百万円増加し、18,198百万円となり、自己資本比率は53.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において、2024年5月9日に公表いたしました2025年3月期の通期業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年 3 月 31 日)	当第 3 四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,322	3,443
売掛金	5,544	3,614
電子記録債権	382	329
商品及び製品	2,110	3,520
仕掛品	1,912	1,642
原材料及び貯蔵品	1,930	2,644
グループ預け金	6,000	-
その他	89	820
流動資産合計	19,294	16,014
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,579	4,326
機械及び装置（純額）	8,125	6,666
建設仮勘定	3,924	4,382
その他（純額）	1,710	2,159
有形固定資産合計	18,339	17,535
無形固定資産	7	9
投資その他の資産		
前払年金費用	238	247
その他	254	148
投資その他の資産合計	492	396
固定資産合計	18,839	17,940
資産合計	38,134	33,955
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,464	3,229
電子記録債務	1,458	1,407
短期借入金	1,500	900
1 年内返済予定の長期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	283	-
賞与引当金	266	128
設備関係電子記録債務	340	722
その他	1,254	588
流動負債合計	13,067	8,475
固定負債		
長期借入金	7,800	6,750
その他	32	531
固定負債合計	7,832	7,281
負債合計	20,899	15,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,155	9,155
資本剰余金	6,662	6,662
利益剰余金	1,366	2,334
自己株式	△2	△2
株主資本合計	17,181	18,149
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52	49
評価・換算差額等合計	52	49
純資産合計	17,234	18,198
負債純資産合計	38,134	33,955

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)
売上高	35,925	27,048
売上原価	32,015	24,300
売上総利益	3,910	2,748
販売費及び一般管理費	1,656	1,768
営業利益	2,254	979
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
為替差益	-	139
その他	7	5
営業外収益合計	11	149
営業外費用		
支払利息	50	65
為替差損	196	-
シンジケートローン手数料	8	6
その他	0	1
営業外費用合計	255	73
経常利益	2,009	1,055
特別利益		
補助金収入	100	778
投資有価証券売却益	3	-
固定資産売却益	-	2
特別利益合計	103	781
特別損失		
固定資産除却損	1	1
固定資産圧縮損	87	642
投資有価証券評価損	-	21
特別損失合計	88	665
税引前四半期純利益	2,024	1,170
法人税、住民税及び事業税	285	5
法人税等調整額	9	67
法人税等合計	295	72
四半期純利益	1,728	1,098

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期貸借対照表に関する注記）

1 財務制限条項

（2017年3月28日契約）

株式会社三菱UFJ銀行を主幹事とするシンジケートローン契約（前事業年度末借入残高900百万円、当第3四半期会計期間末借入残高750百万円）及びコミットメントライン契約（前事業年度末借入残高100百万円、当第3四半期会計期間末借入残高100百万円）には、次の財務制限条項が付されており、下記条項に抵触した場合には、期限の利益を喪失する可能性があります。

2017年3月以降に終了する各年度の決算期の末日における借入人単体の貸借対照表における純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期の末日における借入人単体の貸借対照表における純資産の部の金額の75%の金額以上にそれぞれ維持すること。

本契約締結日以降、全貸付人の貸付義務が終了し、かつ借入人が貸付人及びエージェントに対する本契約上の全ての債務の履行を完了するまで、住友化学株式会社の借入人に対する出資比率が50.1%以上に維持されるようにすること。

（2020年1月28日契約）

株式会社三菱UFJ銀行を主幹事とするシンジケートローン契約（前事業年度末借入残高8,400百万円、当第3四半期会計期間末借入残高7,500百万円）には、次の財務制限条項が付されており、下記条項に抵触した場合には、期限の利益を喪失する可能性があります。

2020年3月以降に終了する各年度の決算期の末日における借入人単体の貸借対照表における純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期の末日における借入人単体の貸借対照表における純資産の部の金額の75%の金額以上にそれぞれ維持すること。

本契約締結日以降、全貸付人の貸付義務が終了し、かつ借入人が貸付人及びエージェントに対する本契約上の全ての債務の履行を完了するまで、住友化学株式会社の借入人に対する出資比率が50.1%以上に維持されるようにすること。

（2021年6月30日契約）

株式会社三井住友銀行を幹事とする当座借越契約（前事業年度末借入残高1,500百万円、当第3四半期会計期間末借入残高900百万円）には、次の財務制限条項が付されており、下記条項に抵触した場合には、期限の利益を喪失する可能性があります。

2021年6月以降に終了する各年度の決算期の末日における借入人単体の貸借対照表における純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期の末日における借入人単体の貸借対照表における純資産の部の金額の75%の金額以上にそれぞれ維持すること。

本契約締結日以降、全貸付人の貸付義務が終了し、かつ借入人が貸付人及びエージェントに対する本契約上の全ての債務の履行を完了するまで、住友化学株式会社の借入人に対する出資比率が50.1%以上に維持されるようにすること。

2 コミットメントライン契約及び当座借越契約

当社は、運転資金調達のため取引銀行5行とコミットメントライン契約並びに設備投資資金調達のため取引銀行1行と当座借越契約を締結しております。なお、コミットメントライン契約の一部(5,250百万円)につきましては、当第3四半期会計期間末現在、解約しております。これら契約に基づく当第3四半期会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
コミットメントラインの総額	7,250百万円	2,000百万円
借入実行残高	—	—
差引額	7,250	2,000

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
当座借越契約の総額	1,500百万円	1,500百万円
借入実行残高	1,500	900
差引額	—	600

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,600百万円	1,622百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、二次電池事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。